

# 児童発達支援ガイドラインによる自己評価について

2021年 1月  
 るんるんキッズハート

児童発達支援の質の向上と支援内容の適正化を図る為、  
 児童発達支援に基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率：保護者66%（26名/39名）：回収数/配布数  
 職員 100%（15名/15名）

## 《調査からの読み取り・改善点》

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	「生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか」の項目で去年同様好評頂いた。一方でスペースが少し狭そう、専門性があるか不明、言語聴覚士さんを配置して欲しいと要望あり。母子分離なので療育（活動）の様子を見てみたい。との意見もあった。	定期的に職員研修を行い、職員の統一性・専門性を図っていく。 また昨年に引き続き、るんるん新聞やホームページ、連絡帳を活用して保護者の方々へ活動の様子を知ってもらう。日々の活動の様子も、LINEを活用してお伝えしている。
適切な支援の提供	「固定化しない活動プログラムの工夫がされているか」の項目で引き続き高い評価を頂いた。毎月の催しものも多い。自宅ではやっていた事ができるように頑張って嬉し。と好評頂いた。一方で「保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか」の項目では不明の回答多数あった。	曜日により療育内容を決め取り組んでいる。 月：読み聞かせ 火：創作活動 水：言葉の教室 木：体操教室 金：リトミック 現在障害のない子供との交流は行っていないが検討していきたい。
保護者への説明等	「日頃から子どもの状態を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解できているか」「子どもや保護者との意思疎通や情報伝達の配慮がなされている」の回答ではほぼ全員「はい」を頂けた。ペアレントトレーニングについて「どちらともいえない」が多数。他の保護者と関わる機会が欲しい。面談時に細かい助言を頂きたいとの意見も頂いた。	日頃から連絡帳や送迎時の保護者との会話を心掛け、支援の統一性や質の向上に努めてきた為、満足いただけているので継続していく。定期的に面談の機会を設けている。
非常時等の対応	避難訓練・防犯・感染症マニュアルにて、「分からない」との意見が半数以上だった。特に感染症に関してインフルエンザ等の感染症について発症者がいるのかいないのかさえ分からない知らせて欲しいとの意見もあった。	水害・災害・感染症マニュアルについて面談時に改めて説明し認知率を高めていく。インフルエンザ等感染症などの流行有無があれば伝達していく。また新型コロナウイルスに対する予防対策、手洗い・換気・消毒等の予防対策を実施していく。計画書の更新時にアセスメントシートと共に緊急避難場所等のプリントを配布している。
満足度	「子どもは通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足しているか」では、ほぼ全員より「はい」と回答をいただいた。笑顔で帰宅し何をしたらかの話をしてくれるようになった。母子ともに通所を楽しみにしています。と好評コメントをいただいた。	過半数で満足との回答をいただきました。満足度が低下しないように、サービスの質の向上を図っていく。児童が楽しく過ごせるように楽しいイベントを今後も計画していく。